

投稿ひろば

宇島鉄道研究会

宇島鉄道研究会では、軽便宇島鉄道耶馬溪駅の運転当時の様子について調査しています。これまで分かってきた内容についてご紹介します。

耶馬溪駅の様子

山国川は、原井の有野で大きく蛇行して穏やかな流れとなるため、有野は、昔から耶馬溪谷の産物の荷受地になっていました。主産物の丸太材木は、上流で筏を組み、有野まで流しますが、下流には、鮎も登れなかったという「鮎返りの滝」の難所があったため、筏を解き、丸太を流して滝を通過させていました。これらのことから、宇島鉄道は、交易の要地である有野に、駅舎を建設しました。

現在の駅舎本家跡の壁や窓、床は改装されていますが、基本的な構造物は当時の姿を留めています。しかしながら、駅舎内部の駅長室・窓口・改札・待合室・事務室の様子は、図面や写真が見つからないため、詳細については分かっていません。

駅舎から少し離れたところにランプ室があります。ランプ室とは、蒸気機関車の前部標識灯、後部標識灯、客車内の照明、汽車の誘導などのカンテラ(石油ランプ)用の油を収納する倉庫です。ランプ室は、レンガ造、4.9mの建物で、屋根は波板が葺か



▲耶馬溪駅の想像図 左より、ランプ室・便所・駅舎

れ、ほぼ現在の姿と変わりありません。駅舎とランプ室の間には便所があります。木造平屋建て、7.4mの建物で、屋根は瓦が葺かれ、腰壁はレンガ積み、床は御影石で豪華に作られていました。宇島鉄道の、お客様を大切に作る社風が伺えます。

また、宇島鉄道は、耶馬溪を訪れる観光客の利用も視野に建設されました。耶馬溪駅に降り立ったお客様は、坑木や材木の香りの中、大平橋を渡って青の洞門に向かいました。

●問い合わせ先 TEL 090-1085-5605(奥田)

コスモちよぼら会

南吉富小6年生との協働清掃活動

3月1日(金)に、南吉富小学校6年生と協働で清掃活動を行いました。何よりも、自発的に取り組んで私たちと一緒に活動する申し出であったことに感心致しました。

作業は国道10号線の歩道と町道及び尾島池周辺のゴミ拾いを実施しました。10号線の歩道ではポイ捨ての吸い殻や植え込みの中にあるゴミを見つれたり、池周辺では泥まみれになった缶やペットボトルを収集するなど1時間余りの間に各自集めたゴミを持ち帰り、校庭で分別作業まで行いました。作業終了後「上毛町をきれいにできて良かった」「目についたゴミは片づけます」などと発表があり、大変意義ある活動になりました。

●問い合わせ先 TEL 72-2765(上野)

ゴミは出さない、捨てない、片付けるです。環境美化は皆の心がけから!!



▲清掃活動を終えて



▲尾島池



▲国道10号線



▲分別作業

いぶきフェスティバル2019 開催!

2月23日(土)、上毛町地域づくり協議会イベント実行委員会による「いぶきフェスティバル 2019」と「第3回コウゲこどもミュージアム」の表彰及び展示を中央公民館支館で開催しました。

イベントは子ども神楽や吹奏楽など多彩なステージのほか、子どもたちが参加して楽しめるよう、様々な趣向が凝らされ、会場には子どもたちの歓声が絶えません。外では綿菓子やフライドポテトなども用意され、見て、食べて、参加でき、子どもが主役の楽しいイベントになりました。

さらに、今回の目玉は、なんとと言っても町内の保育園児、小学生の皆さんによる絵画展「コウゲこどもミュージアム」の開催です。子どもたちには上毛町の良いところを発見する機会として、「上毛町の未来」、「上毛町の大好きな場所」、「上毛町の大好きな人」のテーマで絵を描いてもらいました。子どもたちの豊かな発想と柔らかな感性で描かれた作品、約400点が会場を飾りました。イベントでは入選作品の表彰式も行い、受賞者のとても嬉しそうな笑顔が印象的でした。

上毛町地域づくり協議会の皆さんの協力によって、盛大に開催することができました。会場にお越しいただいた皆さん、お手伝いしていただいた皆さん、本当にありがとうございました。



友枝新聞発行し隊 わくわく友枝瓦版43号発行!

年4回発行している友枝瓦版の43号を発行しました。今回は、「成人式」や「川底柿干し柿の取り組み体験」、四季の風土記として町のあちこちで開催されている「どんど焼き」などの取材を行いました。

これからもスタッフ自ら取材、編集し読者の皆さんに少しでも多くお届けできるようがんばります。

現在、定期購読をしてくれる方や広告掲載を募集しています。詳しくは下記までご一報ください。

●問い合わせ先 TEL 72-2888(藤本)

